

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年2月20日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・毎朝、子どもの人数に応じて職員の配置を決めている。単独の年長児には1対1で対応するように担当を決めている。 ・単独の利用者がいると4対1対応が難しく、見守りが手薄になる時があるため、2対1対応が良いと思った。	・法令に基づいた人員配置は確保出来ていますが、園庭活動等の安全管理に十分な配慮を必要とする活動も多くあるため、実際の現場としては4対1対応では、丁寧かつ安全なサービス提供が十分に出来ないと感じることがあると思います。会議等で現場の意見として伝えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・玩具など消毒を実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・クールダウンするため、落ち着いて過ごせる個室が準備できています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者から意見があった際には必ず会議をして、話し合い他の保護者にも伝え、より良い療育に繋げられるような工夫がされていると感じた。 ・日頃からアンケートにより意向を把握したり、評価表の意見を会議で話し合ったりして改善に向けて取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・業務改善を常に意識し、効率の良い方法を職員間で話し合う場は多いです。 ・必ず職員全員で話し合い、全員が同じ方向性を持ち、周知徹底できるように取り組んでいる。意見も言いやすい職場環境である。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		・第3者評価による外部評価は、まだ未実施であるため今後検討していきたい。保育コーディネーターや大分県発達障がい者支援専門員養成等の視察研修場所にもなっているのので、外部の方の評価は常に受けている体制にある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・ホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・支援計画書作成後は、支援会議を行い、全員で意見を出し、さらにより良い計画書、支援に繋げている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・お子さんの支援に関わる職員と常に共通理解を図りながら計画を立てています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・遠城寺発達検査表、ポーターページ等を用いている。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・自主研修を行い、プログラム内容について職員全員で意見を出し合っています。 ・保育年間計画で活動プログラムを作っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・職員研修等で勉強し、固定化しない内容を考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝の職員会議で共通理解している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・個別記録を毎日、記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・半年ごとに見直しして計画書を作成している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児童発達支援管理者と担当保育士が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・幼稚園、保育園、リハビリスタッフ ・市の保健師や主治医、担当リハビリスタッフ等とも連携して支援をおこなっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・保育所等訪問を定期的に行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・就学前に担当者会議を開いている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7	0	・自立支援協議会に入り、自立支援部会に参加。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	0		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	・今年度も保育所のお子さんとは交流できる場がありました。 ・年1回、公立保育所との交流保育を行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・親子通園のため、その場で子どもの事について話し合う事が出来ている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・年長児の保護者にはペアトレ10セッション、年長児以外の保護者にはペアトレ3セッション、年中児の保護者にはペアプロ7セッションを行っている。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・入園児に児童発達支援管理者が行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・モニタリング時に保護者と本児の願いを確認している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・毎回行っている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・園長が相談表を作成しており、保護者が希望日を記入するだけで、すぐに対応してもらえる工夫がされている。 ・面談希望者全員に行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・「親の会」を保護者が開催している。夏まつり行事で兄弟の参加が出来た。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・その都度、職員で会議を開き、今後の対応や方針を決め、保護者に説明し実施している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・「園だより」を毎月1回発行している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・入園前に同意書をとっている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・視覚支援・朝の連絡会・急な連絡はLINEを使用。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・クリスマス会などの行事にボランティアさんに来てもらうなど、風通しの良い事業所になるようにしている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・安全対策、緊急シミュレーションを年1回実施。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・月に1回は避難訓練を行っています。 ・避難訓練を月1回、発生場所や災害の想定を変えて実施。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・緊急シミュレーションを設けて実際に役割分担して確認出来ていて、よく工夫されている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・アレルギー有無の資料を提出してもらう。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全管理マニュアルをもとに毎日チェックしている。 ・毎日つけるチェック表もあり、とても工夫されていると感じた。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハット事例があった時は、すぐに職員全員で話し合い、再発防止、環境調整を最速に取り組んでいる。 ・発生したインシデント報告書を職員全員で周知、対策をみんなで話し合い共有する。 ・インシデント報告書をもとに他の職員と一緒に部署で対応と対策について会議をして、保護者にも周知出来ており、とても工夫されていると感じた。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・定期的に研修を受け、初心にかえり、また支援することが出来ています。 ・定期的にセンターで職員の研修会を行っている。

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none">・支援計画書の更新のたびに確認を行っている。・児童発達支援計画書にも反映されており、部署で周知と、内容についての検討やあり方を話し合えているため、工夫されていると感じた。	
--	----	--	---	---	--	--